

**安積澹泊** 儒学者、歴史家。水戸藩士。徳川光圀を助けて「大日本史」の編纂に主導的役割を果たした。

あさかたんばく

・・・・・・1656 = 水戸に生れる。祖父正信のとき初代藩主徳川頼房に仕え、父貞吉は儒学を好み、詩文をよくした。  
**明暦の大火**・1657 = 1歳：

諸宗寺院法度1665 = **9歳**：\_江戸に出て朱舜水に師事し、その才を愛されたが、  
**酒井忠清大老**1666 = 10歳：

足利学校再建1668 = 12歳：\_痘を病んで帰郷。

・・・・・・1670 = 14歳：父の後を継ぎ、大番組200石、

・・・・・・1674 = **18歳**：

談林派俳諧・1675 = 19歳：小納戸役に進む。

その後、累進して、

**徳川綱吉將軍**1680 = 24歳：

八百屋お七・1683 = **27歳**：\_江戸の彰考館編修に任じられ、

**堀田正俊暗殺**1684 = 28歳：

世間胸算用・1692 = **36歳**：300石、

奥の細道・・・1693 = 37歳：\*同館総裁に任ぜられ、2代藩主徳川光圀を助けて「大日本史」の編纂に従事、

**生類憐令頂点**1695 = 39歳：

・・・・・・1697 = 41歳：\_彰考館が水戸に移され、

・・・・・・1700 = 44歳：\_光圀が死去した後も、主導的役割を果たし、

松の廊下事件1701 = **45歳**：

赤穂浪士討入1702 = 46歳：この年から江戸・水戸双方で行われる編集に、\_長期にわたって従事、

**徳川綱吉没**・1709 = 53歳：

・・・・・・1710 = **54歳**：

絵島事件・・1714 = 58歳：\*総裁を辞したが、その後も本紀・列伝の校訂作業を続け、

**徳川吉宗將軍**1716 = 60歳：\_「論贊」の執筆に当たり、

・・・・・・1719 = **63歳**：

洋書輸入解禁1720 = 64歳：\*學生の作「論贊」が成った。

徂徠没・・・・1728 = **72歳**：

**享保大飢饉**・1732 = 76歳：

・・・・・・1733 = 77歳：\_致仕したが、なおも校訂を続け、

・・・・・・1737 = **81歳**：\*その完了直後に、没した。

博識で史学に長じ、新井白石、室鳩巢、荻生徂徠らと親交を結び、「朱文恭遺事」「舜水朱氏談綺」「澹泊齋文集」「澹泊先生史論」「西山遺事」などの著書がある。

「この人どんな人」、「没年日本史人物事典」、平凡社百科事典、